日本語／日本語教育研究会 第一回大会

2009年9月27日（日）

学習院女子大学　2号館2F223教室

日本語／日本語教育学研究会は、日本語学と日本語教育の相互交流と発展のために新たに発足しました。おもに若手研究者・大学院生、そして、海外の研究者による研究発表の場を創出することを目指し、年1度（9月予定）研究会を行い、それと連携した雑誌を刊行します（5月）。詳しくは、www.cocopb.com/NichiNichi/nichinichi.html をご覧ください。みなさまのご参加・ご協力をお待ちしております。

プログラム

9:30　受付開始

10:10　開会挨拶（前田直子）

▶セクション1　司会　前田直子（学習院大学）

10:20 〜 11:00　古川敦子（一橋大学大学院博士課程1年）

日常場面における日本語力の自己評価に関する一考察
──交換留学生に対するインタビュー調査より

11:05 〜 11:45　張 志剛（一橋大学大学院博士課程3年）

形容詞の連用修飾について──「激しい」と「減る」の共起関係を中心に

11:45 〜 13:00　昼食休憩

▶セクション2　司会　金井勇人（埼玉大学）

13:00 〜 13:40　ウリジャ（一橋大学大学院博士課程3年）

中国語を母語とする上級日本語学習者「語り」における「情報言及」
──日本語母語話者と比較して

13:45 〜 14:25　キャアコップチャイ ソムピット（学習院大学大学院博士課程3年）

「だろう」の意味と用法

14:25 〜 15:00　休憩

▶セクション3　司会　庵 功雄（一橋大学）

15:00 〜 15:40　呉 秀賢（大東文化大学大学院博士課程3年）

ドラマにみられる呼びかけ表現の日韓比較
──韓国ドラマ「冬のソナタ」を例に

15:45 〜 16:25　湯浅千映子（韓国・大田大学校専任講師）

小学生向け文章の書き分けの諸相
──携帯電話の取扱説明書を資料として

16:30 〜 17:10　藤城浩子（早稲田大学大学院博士課程3年）

ノダの意味の提示方法に関する一案──メタファーを用いた意味提示

17:15　閉会挨拶（庵 功雄）

参加費（予稿集代を含む）　500円
どなたでも参加いただけます。（事前申し込み不要）

連絡先　庵 功雄　isaoiori@courante.plala.or.jp

協力：ココ出版